

TEA BOWL  
FOR

二〇二〇年

五月二十三日(土)―七月十九日(日)

茶の湯の



茶碗

休館日：月曜日  
開館：午前10時―午後5時（入館午後4時30分まで）  
観覧料：一般／700(550)円、大高生／450(350)円、  
中学生以下無料 ※（ ）内は20名以上の団体料金  
主催：公益財団法人香雪美術館、朝日新聞社



香雪美術館

KOSETSU MUSEUM OF ART

〒658-0048 神戸市東灘区御影郡家2丁目12-1 TEL 078-841-0652 <http://www.kosetsu-museum.or.jp/mikage>

中央：朝鮮 井戸茶碗 燕庵井戸 朝鮮時代 16世紀／背景：本阿弥光悦 黒楽茶碗 銘「黒光悦」(部分) 江戸時代 17世紀

CHANOYU

美濃  
志野茶碗  
銘「朝日影」  
桃山時代  
17世紀



景德鎮窯  
染付松竹梅図茶碗  
中国・明時代  
15世紀



長次郎  
黒染茶碗  
銘「摺墨」  
桃山時代  
16世紀



八〇〇年にも及ぶ喫茶の歴史の中で、今日まで大切に伝えられ、茶席で用いられている茶碗。茶の湯の茶碗は、様々な茶道具の中でも、点前で果たす役割が特に大きいものです。中国で焼かれた天目や染付などの唐物、朝鮮半島でつくられた井戸や伊羅保などの高麗、日本独自の楽茶碗や色絵付の施された和物など、茶碗は、時の茶人の求めに応じて変化、発展を続けてきました。また茶碗には、地名や所蔵者の名を反映したものが、趣きのある銘が付けられたものがあり、今も茶席で生かされています。本展では、当館のコレクション約五〇点の茶碗について、日本の茶の湯で用いられた背景や、伝来、銘の由来などについてご紹介いたします。

朝鮮  
黄伊羅保茶碗  
銘「廬山」  
朝鮮時代  
17世紀



朝鮮  
金海洲浜茶碗  
銘「難波」  
朝鮮時代  
17世紀



美濃  
織部黒茶碗  
銘「玉箆」  
桃山時代  
17世紀



樂了入  
赤染鶴文茶碗  
江戸時代  
19世紀



講演会

「茶碗をめぐる人びと」

熊倉功夫氏 (MIHO MUSEUM 館長)

開催日: 2020年5月27日(水) 午後1時~  
講演会場: 甲南大学 平生記念セミナーハウス ホール  
兵庫県神戸市東灘区住吉本町2-29-15  
香雪美術館より徒歩3分

参加費: 1000円  
※「茶の湯の茶碗」展の入場料を含みます  
定員: 100名 (応募多数の場合は抽選)

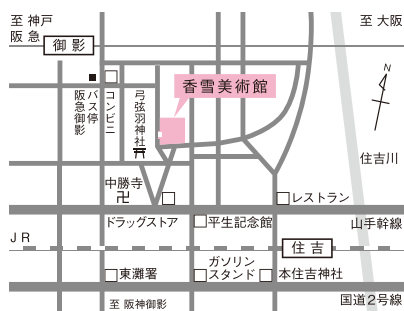
往復はがきに住所・氏名(返信用にも)、電話番号を明記のうえ、郵送でご応募ください。  
はがき1枚につき1名のみ申込みできます。

送付先  
〒658-0048 神戸市東灘区御影郡家2丁目12-1  
香雪美術館「講演会」係 2020年5月8日(金)必着

ギャラリートーク

会期中の毎週土曜日、午後2時から  
学芸員によるギャラリートークを行います。

※ギャラリートークの聴講は無料ですが、  
別途展覧会の鑑賞券が必要です。



[交通案内] 阪急「御影」駅南改札口より東南へ徒歩5分、  
JR「住吉」駅より北西へ徒歩15分、阪神「御影」駅より  
市バス19系統で「阪急御影」下車徒歩5分

香雪美術館  
KOSETSU MUSEUM OF ART

〒658-0048 神戸市東灘区御影郡家2丁目12-1  
Tel 078-841-0652 Fax 078-841-1402  
https://www.kosetsu-museum.or.jp/mikage

次回の展覧会

企画展「生誕130年記念 高島野十郎」  
2020年8月6日(木)~10月18日(日)

中之島香雪美術館の展覧会

企画展「茶の湯の器と書画」  
-香雪美術館所蔵優品選-  
2020年6月13日(土)~8月10日(月・祝)